

台風12号による災害への対応状況

平成23年9月10日

9:00現在

近畿中国森林管理局

9月5日、台風12号による災害への対策を円滑に進めるため、近畿中国森林管理局台風12号災害対策連絡会議を設置して、対応を進めています。

1. 被災状況等調査

- ・9月5日、和歌山署長が阿久津内閣府大臣政務官による和歌山県内現地視察に同行。
- ・9月6日、和歌山署長が平野防災担当大臣による和歌山県内現地視察に同行。
- ・9月6日、奈良所長が前田国交大臣による奈良県内現地視察後の県庁での知事との共同記者会見に同席。
- ・9月6日、奈良県内被災状況のヘリコプター調査を実施（局治山課、奈良森林管理事務所、奈良県）
- ・9月7日、局長及び和歌山署長が森本農林水産大臣政務官による和歌山県内現地視察に同行。
- ・9月7日、和歌山県内被災状況のヘリコプター調査を実施（和歌山森林管理署、和歌山県、森林総合研究所）
- ・9月8日、三重県内被災状況のヘリコプター調査を実施（三重森林管理署、三重県）



【那智山上空から撮影（H23.9.7）】



【十津川村上空から撮影（H23.9.6）】

- ・9月9日、局治山課が、(独) 森林総合研究所森林農地整備センター近畿北陸整備局へ奈良県被害写真を情報提供。和歌山森林管理署が、(独) 森林総合研究所森林農地整備センター和歌山水源林整備事務所へ和歌山県被害写真を情報提供。
- ・9月9日、和歌山森林管理署が田辺市内の中辺路森林組合と被害状況について情報交換。

2. 民生支援

○奈良県内（奈良森林管理事務所）

- ・9月7日、十津川村の森林官、治山事業所主任が携帯する衛星電話により、外部との連絡を確保し、孤立集落（上野地地区）の住民に衛星電話を開放（現在まで引き続き実施）。また、自衛隊ヘリによる救援物資の陸上運搬に協力。
- ・9月7日、奈良所職員4名が十津川村 上野地地区に救援物資として食料を供給。
- ・9月9日、十津川村の治山事業所主任及び局から派遣した職員が、十津川村役場及び上野地地区に救援物資として、発電機3基、携行缶（ガソリン約200ℓ入り）、衛星携帯電話機9個等を供給。

○和歌山県内（和歌山森林管理署）

・（新宮市）

和歌山署新宮森林事務所森林官等5名が、事務所周辺の被災家屋からの荷物等運搬に協力するとともに、自宅が被災した1世帯に官舎を提供。

・（田辺市本宮町）

和歌山署本宮治山事業所主任が、事業所の救急薬品、乾電池、ティッシュペーパーを田辺市役所本宮行政局（市役所の支所）に提供。

○三重県内（三重森林管理署）

・（紀宝町）

三重署尾鷲森林事務所等職員4名が、紀宝町役場からの要請を受けて、鮎田地区に水1,000リットルとトイレットペーパー等生活物資を提供。

以上